

経腸栄養剤の種類と適応

経腸栄養剤は、窒素源(たんぱく質・ペプチド・アミノ酸)によって半消化態栄養剤, 消化態栄養剤, 成分栄養剤に分類されます。また, 栄養剤は医薬品と食品に分類されます。経腸栄養剤は, 消化吸収機能, 病態, 投与ルート, 栄養剤の組成, 投与量から最も適したものを選択する必要があります。今回のレターでは, 当院で採用している経腸栄養剤をまとめたので, 参考にしてください!

分類	窒素源	当院採用栄養剤	特徴・適応
半消化態 栄養剤	たんぱく質	ラクフィア1.0	1.0kcal/mlの標準タイプの栄養剤。 NaIに配慮した組成。
		アイソカルBag2K	2.0kcal/mlの高濃度タイプ。 水分制限が必要な病態に使用。
		ラコールNF	1.0kcal/mlの標準タイプの栄養剤。
半固形化栄養剤	たんぱく質	ラコールNF 半固形化剤	粘度が高く短時間で投与が可能。 胃食道逆流の抑制や下痢の軽減。 胃瘻からの投与が必須。
消化態 栄養剤	ペプチド アミノ酸	ペプタメンST	1.5kcal/mlの高濃度タイプ。乳清ペプチドを使用し消化吸収に配慮。 消化管術後, 腸瘻から投与に使用。
成分栄養剤	アミノ酸	エレンタール	窒素源はアミノ酸のみの成分栄養剤。 低脂肪・低残渣。 消化機能低下の週術期やCrohn病, 潰瘍性大腸炎, 急性膵炎などが対象。

医薬品？それとも食品？



薬として 医師が処方するもの

- 病態別の栄養剤の選択が不可能。
- 保険適応のため, 経済的。
- 管理は**薬剤部**。

ラコールNF, ラコールNF半固形化剤,
エレンタール, エンシュアH, イノラス

食品として 給食で提供するもの

- 病態別の栄養剤の選択が可能。
グルセルナREX(糖尿病用)
リーナレン(腎不全用)
*上記2種類は通常在庫なし, 必要時発注。
- 保険適応なし。
退院後は患者さんの自己負担。
- 管理は**栄養管理室**。
ラクフィア1.0, アイソカルBag2K,
ペプタメンST

【編集後記】

患者さんの病態, 投与ルート(胃管, 胃瘻, 腸瘻), 退院先などを考慮して, 栄養剤を選択しています。経腸栄養のプランニングでお困りの際はNSTに相談してください。